

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成21年11月5日 (2009.11.5)

【公開番号】特開2008-90579(P2008-90579A)

【公開日】平成20年4月17日 (2008.4.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-015

【出願番号】特願2006-270459(P2006-270459)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

B 4 1 J 29/40 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

H 0 4 N 1/387 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/12 K

B 4 1 J 29/40 Z

B 4 1 J 29/38 Z

G 0 6 F 3/12 L

H 0 4 N 1/387

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月16日 (2009.9.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カラープリンタを用いて印刷する色抜け判別用スタンプマークの印刷方法であって、
前記色抜け判別スタンプマークは、色抜け判別部と背景部を含んで成り、色抜けが発生
すると、前記色抜け判別部と前記背景部とが異なる色となるように構成されており、
前記カラープリンタ又は前記カラープリンタを制御するプリンタドライバのいずれかに
設定される各印刷モードに、各色抜け判別用スタンプマークが対応されていて、
指定された前記印刷モードに対応する前記色抜け判別用スタンプマークを印刷すること
を特徴とする色抜け判別用スタンプマークの印刷方法。

【請求項 2】

請求項 1 において、
前記色抜け判別用スタンプマークを印刷する色抜け判別用イメージデータを予め作成し
、前記各印刷モードに対応付けし、前記各色抜け判別用イメージデータを記憶保持してお
くことを特徴とする色抜け判別用スタンプマークの印刷方法。

【請求項 3】

請求項 2 において、
 印刷モード毎に異なる前記色抜け判別用イメージデータを用いて前記色抜け判別用スタ
 ンプマークを印刷することを特徴とする色抜け判別用スタンプマークの印刷方法。

【請求項 4】

請求項 1 ないし 3 のうちのいずれかの項において、
 前記カラープリンタがアプリケーションから受け取った印刷データを印刷する際に、当
 該印刷データと共に前記色抜け判別用スタンプマークを印刷することを特徴とする色抜け
 判別用スタンプマークの印刷方法。

【請求項 5】

請求項 2 ないし 4 のうちのいずれかの項において、

前記印刷モードは、少なくとも、印刷媒体の種類と、解像度、印刷速度のいずれかを選択することにより指定され、

前記印刷モードが指定されると、指定された当該印刷モードに対応付けされている前記色抜け判別用イメージデータを選択し、

選択された前記色抜け判別用イメージデータを用いて前記色抜け判別用スタンプマークを印刷することを特徴とする色抜け判別用スタンプマークの印刷方法。

【請求項 6】

請求項 1 ないし 5 のうちのいずれかの項において、

前記色抜け判別用スタンプマークの前記色抜け判別部と前記背景部のいずれか一方は、前記カラープリンタに搭載されている複数の色インクのうちの第 1 の色インクを用いて印刷され、前記色抜け判別部と前記背景部のいずれか他方は、当該第 1 の色インク以外の各色インクのそれぞれを用いて印刷され、

色抜けが無い場合には、前記色抜け判別部と前記背景部の印刷色は目視により識別できない同一色になり、色抜けが発生した場合には、これらの印刷色は目視により識別可能な異なる色になることを特徴とする色抜け判別用スタンプマークの印刷方法。

【請求項 7】

カラープリンタを制御して色抜け判別用スタンプマークを印刷するプリンタドライバであって、

前記色抜け判別スタンプマークは、色抜け判別部と背景部を含んで成り、色抜けが発生すると、前記色抜け判別部と前記背景部とが異なる色となるように構成されているものであり、

各印刷モードに割り当てた各色抜け判別用スタンプマークを印刷する各色抜け判別用イメージデータを、各印刷モードに対応付けした形態で記憶保持するイメージデータ設定記憶手段と、

前記印刷モードに対応する前記色抜け判別用イメージデータを、前記イメージデータ設定記憶手段から選択するイメージデータ選択手段と、

前記印刷媒体の所定の位置に前記色抜け判別用スタンプマークが印刷されるように印刷データを生成する印刷データ生成手段と、

前記印刷データの印刷を行なうために前記カラープリンタの駆動を制御する駆動制御手段とを有していることを特徴とするプリンタドライバ。

【請求項 8】

請求項 7 において、

少なくとも、印刷媒体の種類と、解像度、印刷速度のいずれかを選択することにより、前記印刷モードを指定させる印刷モード設定手段を有し、

前記印刷モードが指定されると、前記イメージデータ選択手段は、指定された当該印刷モードに対応付けされている前記色抜け判別用イメージデータを選択することを特徴とするプリンタドライバ。

【請求項 9】

請求項 7 または 8 において、

前記色抜け判別用スタンプマークは、前記カラープリンタに搭載されている複数の色インクのうちの第 1 の色インクを用いて印刷された前記色抜け判別部と前記背景部のいずれか一方と、当該第 1 の色インク以外の各色インクのそれぞれを用いて印刷された前記色抜け判別部と前記背景部のいずれか他方とを備えたものであり、

色抜けが無い場合には、前記色抜け判別部と前記背景部の印刷色は目視により識別できない同一色になり、色抜けが発生した場合には、これらの印刷色は目視により識別可能な異なる色になることを特徴とするプリンタドライバ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

上記の課題を解決するために、本発明は、色抜け判別部がその背景部から目視により識別できる印刷状態の場合には印刷時に色抜けが発生したと判別可能な色抜け判別用スタンプマークを、複数の印刷モードを備えたカラープリンタ又はプリンタドライバを用いて印刷するための色抜け判別用スタンプマークの印刷方法において、前記カラープリンタ又は前記プリンタドライバに設定されている前記印刷モードが第1の印刷モードの場合には、第1の色抜け判別用イメージデータを用いて前記色抜け判別用スタンプマークを印刷し、前記カラープリンタ又は前記プリンタドライバに設定されている前記印刷モードが第2の印刷モードの場合には、第2の色抜け判別用イメージデータを用いて前記色抜け判別用スタンプマークを印刷することを特徴とする。

本発明は、カラープリンタを用いて印刷する色抜け判別用スタンプマークの印刷方法であって、

前記色抜け判別スタンプマークは、色抜け判別部と背景部を含んで成り、色抜けが発生すると、前記色抜け判別部と前記背景部とが異なる色となるように構成されており、

前記カラープリンタ又は前記カラープリンタを制御するプリンタドライバのいずれかに設定される各印刷モードに、各色抜け判別用スタンプマークが対応されていて、

指定された前記印刷モードに対応する前記色抜け判別用スタンプマークを印刷することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

本発明では、前記色抜け判別用スタンプマークを印刷する色抜け判別用イメージデータを予め作成し、前記各印刷モードに対応付けし、前記各色抜け判別用イメージデータを記憶保持しておくことを特徴とする。

本発明では、前記第1および第2の色抜け判別用イメージデータを予め作成し、前記第1および第2の印刷モードに対応付けした形態で記憶保持しておくことができる。各印刷モードで使用する色抜け判別用イメージデータを関数等を用いて動的に生成することもできるが、予め色抜け判別用イメージデータを作成しておいて、それを各印刷モードに対応づけて記憶しておけば、色抜け判別用スタンプマークの印刷が容易である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

この場合には、前記印刷モードは、少なくとも、印刷媒体の種類と、解像度、印刷速度のいずれかを選択することにより指定され、前記印刷モードが指定されると、指定された当該印刷モードに対応付けされている前記色抜け判別用イメージデータを選択し、選択された前記色抜け判別用イメージデータを用いて前記色抜け判別用スタンプマークを印刷するようにすればよい。

【手続補正5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0019】

次に、本発明は、印刷モード毎に異なる前記色抜け判別用イメージデータを用いて前記色抜け判別用スタンプマークを印刷する印刷方法を用いてカラープリンタを駆動制御するプリンタドライバであって、各印刷モードに割り当てた各色抜け判別用イメージデータを、各印刷モードに対応付けした形態で記憶保持するイメージデータ設定記憶手段と、前記カラープリンタにおけるアプリケーションから受け取った印刷データの印刷モードに対応する前記色抜け判別用イメージデータを、前記イメージデータ設定記憶手段から選択するイメージデータ選択手段と、前記印刷データの印刷と重ね合わせて印刷媒体の所定の位置に前記色抜け判別用スタンプマーク印刷が印刷されるように、前記印刷データおよび、選択した前記色抜け判別用イメージデータを合成して合成印刷データを生成する印刷データ生成手段と、前記合成印刷データの印刷を行なうために前記カラープリンタの駆動を制御する駆動制御手段とを有していることを特徴とする。

本発明は、カラープリンタを制御して色抜け判別用スタンプマークを印刷するプリンタドライバであって、

前記色抜け判別スタンプマークは、色抜け判別部と背景部を含んで成り、色抜けが発生すると、前記色抜け判別部と前記背景部とが異なる色となるように構成されているものであり、

各印刷モードに割り当てた各色抜け判別用スタンプマークを印刷する各色抜け判別用イメージデータを、各印刷モードに対応付けした形態で記憶保持するイメージデータ設定記憶手段と、

前記印刷モードに対応する前記色抜け判別用イメージデータを、前記イメージデータ設定記憶手段から選択するイメージデータ選択手段と、

前記印刷媒体の所定の位置に前記色抜け判別用スタンプマークが印刷されるように印刷データを生成する印刷データ生成手段と、

前記印刷データの印刷を行なうために前記カラープリンタの駆動を制御する駆動制御手段とを有していることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

本発明において、少なくとも、印刷媒体の種類と、解像度、印刷速度のいずれかを選択することにより、前記印刷モードを指定させる印刷モード設定手段を有し、

前記印刷モードが指定されると、前記イメージデータ選択手段は、指定された当該印刷モードに対応付けされている前記色抜け判別用イメージデータを選択することを特徴とする。

本発明において、前記印刷データの印刷時に、印刷媒体の種類と、解像度および/または印刷速度とを選択することにより前記印刷モードを指定させる印刷モード指定画面を表示し、当該印刷モード指定画面上において前記印刷モードを指定するための入力を行わせる印刷モード設定手段を有し、前記印刷モードが指定されると、前記イメージデータ選択手段は、指定された当該印刷モードに対応付けされている前記色抜け判別用イメージデータを選択することが好ましい。このようにすれば、印刷データの印刷モードが指定される際に、指定された印刷モードに対応する色抜け判別用スタンプマークが選択されるので、いずれの印刷モードで印刷データの印刷が行なわれても、色抜けが発生していない場合には色抜け判別用スタンプマークの色抜け判別部と背景部とが単一の印刷色で印刷されて目視により識別できない印刷状態にすることができる。